

## 松山市議会 副議長選挙に係る所信表明会会議録

### [開催日時]

令和3年7月1日（木曜日）午後1時33分開会  
午後1時45分閉会

### [開催場所]

議 場

### [所信表明者]

1. 菅 泰 晴 議員（みらい松山）
2. 吉 富 健 一 議員（公明党議員団）

※所信表明申出書届出順

— 午後 1 時 33 分開会 —

○中島 郁事務局長 ただいまから副議長選挙に係る所信表明会を開催します。

失礼して着座にて進行いたします。

お手元配付の所信の概要のとおり、菅議員及び吉富議員から所信表明の申出がありました。

所信を表明する順番は、届出順により、菅議員、吉富議員の順でお願いいたします。

この際、申し上げます。

申合せにより、所信表明に対しては、何人も拍手、その他の方法により賛意を表し、またはやじ、その他の方法により反意を表してはならないこととなっておりますので、御注意を願います。

それではまず、菅議員、所信表明をお願いいたします。

〔菅 泰晴議員登壇〕

○菅 泰晴議員 今回の副議長選挙におきまして、所信表明の機会を与えていただきましたことに、まずもって議員の皆様、関係各位に感謝申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大により、経済状況、社会環境、社会生活が大きく変化しております。私も医療関係者の一人として、どのようにすれば市民の不安の払拭や御意見を実現できるのか、何ができるのか、自分ができ得る最大限の動きをしまいにしました。

まず、コロナウイルスとはどういうものであるか、昨年 6 月に何回か大学病院を訪ね、医師からレクチャーを受けました。また、医療崩壊を防止するには、医療施設、入院施設の確保が大丈夫であるのか、松山市内の受入れ可能な病院を探し出し、数か所確保し報告いたしました。医療体制や受入れ状況を自分なりに調査いたしました。しかしながら、コロナ情報は入りにくいことを痛感いたしました。

コロナ禍という現在進行形の大災害の中で、議会としてどのように動いていくのか、議員全員が情報を迅速に把握し、また情報を共有し、連携して闊達な議論をすることが必要であると考えます。コロナの一刻も早い収束と経済の復活、社会環境、医療・福祉、教育環境、ふだんの社会生活を取り戻すことが喫緊の課題であります。

議会におきましては、目指す具体的な取組については、議会改革の充実、議会機能の強化充実、女性議員の環境設備の充実、多様な意見を尊重する取組、この中には議員の質問時間の延長に関し、議長と共に前向きに検討してまいりたいと思います。

市民目線と闊達な議論、これが私の副議長職に挑む政治信条であります。議員各位におかれましては、何とぞ御理解と御支援を切にお願いし、私の所信とさせていただきます。

御清聴ありがとうございました。

○中島 郁事務局長 以上で、菅議員の所信表明は終わりました。

次に、吉富議員、所信表明をお願いいたします。

〔吉富健一議員登壇〕

○吉富健一議員 公明党議員団の吉富健一です。

貴重なお時間を頂戴いたしまして、本当にありがとうございます。

これより副議長選挙の実施に先立ちまして、所信を述べさせていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大から 1 年半がたとうとしております。改めてこの未曾有の災難によって亡くなった方の御冥福をお祈り申し上げますとともに、感染された方、御家族の皆様には心よりお見舞いを申し上げたいと思います。そして、この 1 年半、コロナ禍においても、市民の命と暮らしを守るために働き続けてくださっている皆様に改めて感謝を申し上げたいと思います。

まさに手探りの状況から始まった新型コロナ対策ですが、本市においても感染拡大の波を幾つか越え、手洗い、マスクの着用、3密回避といった基本的な感染対策が浸透し、新しい生活様式に基づく社会経済活動が普及しつつあります。一方では、変異種の拡大が新たな脅威となっています。

こうした中、新型コロナ対策の切り札となり、コロナ禍を克服する希望となっているのが、何といたっても新型コロナワクチン接種です。

高齢者向けワクチン接種については、当初は先行する他自治体での混乱も聞き及びましたが、本市では、理事者、職員の尽力と工夫により、現在は比較的円滑に進んでいるように推察をいたします。

それでも、当初は本市でも、案内が高齢者には分かりにくい、また電話が全然つながらない、そしてインターネットが分からない、さらに市の職員の対応が悪いなどなど、議員の元にも様々な御意見、要望、叱咤の声が届いておりました。こうしたやり場のない市政の市民の声をまずは一身に受け止めることが、市民の側に立つ議員と市議会の役目であると再認識をした次第です。そして、こうした現場の声に基づき、議員と議会が行ってきた数々の提言が現実を踏まえた意義ある改善につながった事例も多いのではないかと思います。コロナ禍において、議会の果たす役割はますます大きくなっていると感じております。

コロナ禍で明らかになった議会の課題に対応するため、現在、本市議会では、非常時や災害時における議会の事業継続性の確保や議会における情報通信技術の活用、そして新たな市民参画の方法であるユーチューブを活用したオンラインでの議会報告会の開催などの検討、準備が進められているところですが、多様な市民、一人でも多くの市民の利益を代弁し、地に足のついた改善を進めていくためには、これからも不断の議会改革が必要なのは論をまちません。

私は、議員の皆さんの御指導をいただきながら、お知恵とお力をいただきながら、コロナ禍における市政の向上のために、また市民生活の安寧のために、精いっぱい尽力をしていく決意しております。議員の皆様の御賛意をどうぞよろしくお願い申し上げます。

○中島 郁事務局長 以上で、吉富議員の所信表明は終わりました。

以上で、松山市議会副議長選挙に係る所信表明会を終了いたします。

— 午後 1 時 45 分閉会 —